

空気環境等測定業務特記仕様書

1 業務の内容

「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」（以下「法律」という。）に基づく室内環境測定業務

2 実施回数

契約期間中の環境測定実施回数は6回（偶数月）とし、実施日は甲の指定する日とする。

3 実施方法

(1) 業務の実施者

法律第7条の規定に基づく「建築物環境衛生管理技術者免状所有者」

(2) 実施地点

測定地点は次のとおりとする。

| 測 定 地 点 | | | | 備考 |
|---------|-----------|------|-----|----|
| 1 | 玄関ロビー | A棟 | 1 F | |
| 2 | 医事課 | A棟 | 1 F | |
| 3 | 調剤室 | A棟 | 1 F | |
| 4 | 新外来1階 | 新外来棟 | 1 F | |
| 5 | 新外来2階 | 新外来棟 | 2 F | |
| 6 | 外科外来 | B棟 | 1 F | |
| 7 | 外科外来2階待合 | B棟 | 2 F | |
| 8 | 内科外来 | C棟 | 1 F | |
| 9 | 検査科 | F棟 | 2 F | |
| 10 | 東2病棟 | J棟 | 2 F | |
| 11 | 医局カンファレンス | J棟 | 3 F | |
| 12 | 指導相談室 | K棟 | 3 F | |
| 13 | こころの外来 | H棟 | 1 F | |
| 14 | 事務室 | H棟 | 5 F | |
| 15 | 看護師長室 | H棟 | 6 F | |
| 16 | 食堂 | L棟 | 1 F | |
| 17 | ラウンジ | L棟 | 2 F | |
| 18 | 訪問教育室 | L棟 | 2 F | |
| 19 | 北2病棟 | 北館 | 2 F | |
| 20 | 北3病棟 | 北館 | 3 F | |
| 21 | 北4病棟 | 北館 | 4 F | |
| 22 | 北5病棟 | 北館 | 5 F | |

| | | | | |
|----|---------|----|-----|--|
| 23 | 救急外来 | 西館 | 1 F | |
| 24 | 周産期外来 | 西館 | 2 F | |
| 25 | 周産期病棟 | 西館 | 2 F | |
| 26 | 循環器病棟 | 西館 | 3 F | |
| 27 | CCU | 西館 | 3 F | |
| 28 | PICU | 西館 | 5 F | |
| 29 | 中央滅菌材料室 | 西館 | 5 F | |
| 30 | 外科病棟 1 | 西館 | 6 F | |
| 31 | 外科病棟 2 | 西館 | 6 F | |
| 32 | 防災センター | 西館 | 1 F | |

4 測定方法

本仕様書第3項第1号に定める業務の実施者指揮のもとに、法律施行規則第3条の2の規定に基づき、測定を実施する。

5 測定項目及び一日の測定回数

| 測定項目 (単位) | 回 数 | 測定項目 (単位) | 回 数 |
|----------------------------|-----|-----------|-----|
| 浮遊粉塵量 (mg/m ³) | 2 回 | 相対湿度 (%) | 2 回 |
| 一酸化炭素含有率 (ppm) | 2 回 | 気流 (m/s) | 2 回 |
| 二酸化炭素含有率 (ppm) | 2 回 | 照度 (ルクス) | 2 回 |
| 温度 (℃) | 2 回 | | |

6 記録報告書

(1) 提出日及び部数

測定業務終了後 15 日以内に、その結果を報告書に記載し、甲に提出する。

また、部数は原則として原本・写しの各 1 部計 2 部を提出し、その原本の写しを受託者が 5 年間保存する。

(2) 記載すべき項目

- ① 測定年月日
- ② 測定者名
- ③ 使用機器の名称及びメーカー名
- ④ 天候
- ⑤ 測定時刻
- ⑥ 測定室名
- ⑦ 測定値 (2 回分) 及びその平均値
- ⑧ 在室人員
- ⑨ 結果における意見具申等
- ⑩ 環境測定判定基準表

冷却塔清掃業務特記仕様書

1 業務の目的

病院の冷却塔の定期的な洗浄、並びに殺菌剤の投与を行うことにより、レジオネラ症の発生防止に資する。

2 業務の対象、回数など

| No. | ① | ② | ③ |
|--|------------------------------------|------------------------|-----------|
| 対 象 | 冷却塔 600R T | 冷却塔 100R T (常用発電機用) | 冷却塔 10R T |
| 台 数 | 1 台 | 1 台 | 1 台 |
| 場 所 | PP 棟屋上 | PP 棟屋上 | H棟屋上 |
| 洗 浄 | 年 5 回 (6 月から 10 月に 各月 1 回実施) | 12 回 (契約期間中月 1 回実施) | |
| 除 菌 剤 ※レジオアメーバ・ レジオネラ属菌 対応を投与 | 年 5 回 (6 月から 10 月の 洗浄時に実施) | 12 回 (契約期間中月 1 回実施) | |

3 業務作業報告書

- (1) 乙は、毎回の業務完了後 15 日以内に業務作業報告書を、甲に提出しなければならない。
- (2) 乙は、作業前及び作業終了後の写真を業務作業報告書に添付しなければならない。

4 特記事項

- (1) 洗浄の際には、ジ亜塩素酸ナトリウム (0.5ppm) の噴霧を行うものとし、作業工程については、冷却塔ブロー・冷却塔上部洗浄・冷却塔水槽フィン洗浄・冷却塔ストレーナー洗浄・冷却塔まわり洗浄・冷却水水張り・冷却水ポンプ運転 (エア抜き) の順に行うこと。
- (2) 除菌剤については、甲が負担するものとし、使用薬剤、その使用量については、甲の指示に従うものとする。

レジオネラ属菌検査業務特記仕様書

1 業務の内容

院内各所からの検体の採集及びレジオネラ属菌の検査

2 検体の採水

乙は、自ら用意する容器に検体を採取し、即座に分析機関へ検査依頼するものとする。
なお、検体の採取場所については甲の指示に従うものとする。

3 報告方法

乙は、採水終了後 15 日以内に、結果報告書を甲に提出しなければならない。

4 検査対象機器及び実施時期

| No. | 対象機器 | 実施時期 | | | | | |
|-----|------------------|------|-----|-----|-----|------|-----|
| | | 5 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 11 月 | 2 月 |
| ① | 空調用冷却塔 No, 1 冷却水 | | ○ | ○ | ○ | | |
| ② | コージェネ用冷却塔冷却水 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ③ | 電算室用冷却塔冷却水 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ④ | 給湯用給水 | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ |
| | 検体数（合計 20 検体） | 3 | 4 | 4 | 4 | 2 | 3 |

水質検査業務特記仕様書

1 業務の内容

建築物における衛生的環境の確保に関する法律施行規則に基づく水質検査業務（院内各所からの検体の採取を含む。）

2 検査の実施及び検査結果の報告

(1) 検査項目及び報告方法

乙は、別紙1「水質検査計画」に掲げる水質検査の項目及び実施時期に従い、「水質基準に関する省令」などを遵守して検査を行い、検査実施後10日以内にその結果を書面により速やかに甲に報告する。

なお、検査の結果、基準を超える値を検出した場合は、速やかに甲に連絡するものとする。

(2) 検査の対象

1月に付き3検体（3系統）を実施する。

(3) 検体の採水

乙は、自ら用意する容器に検体を採取し、即座に分析機関へ検査依頼するものとする。

なお、検体の採取場所については甲の指示に従うものとする。

3 年間計画の提出

乙は、業務受託後速やかに毎月の検査実施予定日等を記載した年間計画書を提出するものとする。

なお、当該年間計画書に記載された検査実施予定日が変更になる場合は、速やかに甲に連絡し、承諾を得るものとする。

ボイラー等ばい煙測定業務特記仕様書

1 業務の内容

大気汚染防止法等関係法令に基づく、ボイラー等ばい煙発生装置の排ガス中物質濃度測定業務

2 分析対象機器及び分析項目など

| 対象機器 | | 分析項目 及び 実施時期 | | | | | |
|--------------|-----|--------------|---|-----------------|---|-----------------|---|
| | | ばいじん | | NO _x | | SO _x | |
| | | 夏 | 冬 | 夏 | 冬 | 夏 | 冬 |
| 名 称 | 数量 | | | | | | |
| ガス炊きボイラー | 1 基 | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 重油炊きボイラー | 2 基 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 冷温水発生機 | 1 基 | ○ | | ○ | ○ | | |
| コージェネレーション設備 | 1 基 | ○ | ○ | ○ | ○ | | |

3 分析結果の報告

乙は、測定実施後 15 日以内に、対象機器ごとの分析結果を計量証明書の様式により報告すること。

4 足場の提供

分析業務にともなう足場は甲が提供する。

病理検査室等作業環境測定業務特記仕様書

1 業務概要

作業環境測定法第3条第2項の規定に基づく作業環境測定業務

2 業務の内容

(1) 有機溶剤作業環境測定業務

① 内 容 有機溶剤中毒予防規則の規定に基づくクロロホルム、キシレン、メタノール、アセトンの空气中濃度の測定

② 測定場所 病理検査室

③ 測定回数 2回

(2) 特定化学物質作業環境測定業務

① 内 容 特定化学物質障害予防規則の規定に基づくホルムアルデヒドの空气中濃度の測定

② 測定場所 病理検査室及び解剖室

③ 測定回数 2回

3 測定日

測定日については、委託契約期間の中で甲乙協議の上決定するものとする。

4 報告方法

乙は、測定終了後 15 日以内に、作業環境測定機関による証明書の様式により結果報告書を甲に提出すること。

営繕業務特記仕様書

1 業務の内容

- (1) 院内施設及び医師宿舎の営繕業務に関すること
- (2) 院内施設及び医師宿舎の小修繕に関すること
 - ① 木製品の作成、壁の補修等
 - ② 院内保育所及び医師宿舎の軽微な補修
- (3) 院内掲示物の掲示に関すること
- (4) その他、院内用務に関すること
 - ① 電気設備法令点検の補助業務
 - ② 院内における催事等の会場設営等

2 業務時間および勤務人員数

- (1) 勤務時間は月～金曜日のうち週 30 時間とし、パワープラント棟 2 F 作業室に 1 名配置すること。
- (2) 時間外勤務を行う必要がある場合は、様式 2 に定める時間外勤務実施記録簿により、あらかじめ甲の承認を得ること。
- (3) 休暇等で不在となる場合は、あらかじめ甲の承認を得ること。